

小論文

近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化するとともに、気候変動の影響により、今後、降雨量や洪水発生頻度が全国で増加することが見込まれている。そこで、治水対策として「氾濫をできるだけ防ぐための対策」に加え、「被害対象を減少させるための対策」や「被害の軽減，早期復旧，復興のための対策」へと大きな転換が図られ，国や流域自治体，企業・住民等，あらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」の実効性を高める「流域治水関連法」が2021年11月より施行された。

あなたが実施すべきと考える流域治水事業の具体策を提案し，その意義と実行にあたっての課題を論ぜよ（1200字以内）。